

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和4年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立診療所(青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所)
指定管理者名	日本赤十字社
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立診療所条例
施設の設置目的	診療、看護、公衆衛生活動等を行うため
施設概要	<p>◆市立青野原診療所:相模原市緑区青野原2015番地2 昭和39年2月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設</p> <p>◆市立千木良診療所:相模原市緑区千木良852番地8 昭和42年4月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設</p> <p>◆市立藤野診療所:相模原市緑区小淵1656番地1 昭和36年7月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設</p>
施設所管課	健康福祉局 保健衛生部 医療政策課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数合計(人)	15,944	12,291	13,376	13,524			
うち 往診患者延数	269	152	197	188			
診療収益(円)	160,046,152	133,917,662	143,319,635	141,659,181			
診療単価(円)	10,038	10,896	10,715	10,475			

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	令和4年度は、令和3年度対比で95.4%と目標を下回った。病状の進行や家庭の状況が変わり、施設への入所するなどの減少要因はあるものの、訪問診療のニーズは依然として高いと考えられるため、より積極的な対応を期待する。

指標	
指標名(単位)	訪問診療の利用者数(地域住民が必要な医療として需要の増加が見込まれるため)(人)
指標式と指標の説明	3診療所の年間累計(目標値は前年度実績)

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)	-	-	152.0	197			
実績値(人)	269.0	152.0	197.0	188			
達成度(%)	-	-	129.6%	95.4%			

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	市が指定する事業については協定書及び仕様書に基づき、適正に遂行されている。また、令和3年度に引き続き、発熱診療等医療機関に協力し、コロナ禍における地域医療に貢献している。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
地域住民に対する初期医療の提供及び病診連携による地域の医療水準の向上	通年	津久井地域における診療所として、相模原赤十字病院等と連携し、地域医療体制の維持に貢献した。	○
訪問診療の実施による在宅患者の支援	通年	訪問診療を年間を通して実施した。 (延べ往診患者人数:188人)	○
公衆衛生活動等の実施による地域住民の健康増進	通年	健康診断及び予防接種を実施した。 (1診療所あたり月平均14日実施)	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	事務職員の退職に伴う引継ぎでダブルチェックを行っていたこと(千木良診療所)、医師の診療が丁寧であったこと(藤野診療所)などにより、待ち時間に関する評価が低いものの、「また利用したい」という質問については目標値も前年実績も上回る結果となった。待ち時間の課題については、千木良診療所は引継ぎ期間が終了し改善の見込みであり、藤野診療所については問診を待合室で看護師が行うなど医師の作業を減らす工夫を行っているとのことで、令和5年度の改善に期待する。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	「診療所職員の対応」、「診療待ちから会計までの待ち時間」項目において、利用者を対象にアンケート調査を実施した。 サンプル数:青野原…110、千木良…169、藤野…201 実施時期:令和5年1月10日～令和5年1月28日
目標値の基準	利用者から「また利用したい」との評価を受けている割合の3診療所の平均値が、前年度までの平均値を上回ること

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（%）	92.4	92.7	92.9	93.2			
実績値（%）	95.4	95.4	96.4	98.3			
達成度（%）	103.2%	102.9%	103.8%	105.5%			

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	収支は令和3年度より悪化したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴う運営費補助金の収入や課題となっていた代診の委託費の支出が大きく減額となり、収入・支出とも特殊な事情がない本来の運営状況で黒字の経営となったことは評価に値する。

施設の収支概要		※直近3年間について記載			(円)
項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入 (a)		207,775,627	223,696,302	206,959,688	
	指定管理料	29,300,740	61,945,000	63,078,000	
	利用料金収入	133,917,662	143,319,635	141,659,181	
	その他の収入	44,557,225	18,431,667	2,222,507	
支出 (b)		199,649,973	192,193,289	182,150,461	
	材料費	42,442,556	35,268,608	30,576,771	
	給与費	90,251,839	105,111,604	114,370,294	
	委託費	51,501,553	36,468,110	19,678,798	
	設備関係費	6,945,525	7,267,458	8,611,027	
	その他の支出	8,508,500	8,077,509	8,913,571	
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		8,125,654	31,503,013	24,809,227	
自主事業収入 (d)		0	0	0	
自主事業支出 (e)		0	0	0	
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	0	0	
全体収支 【(c)+(f)】		8,125,654	31,503,013	24,809,227	
備考					
団体の財務状況		団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	現地確認、書類提出及び指定管理者へのヒアリング
実施時期	各診療所、指定管理者：令和5年10月11日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	仕様書に定められた業務が適正に実施されていること及び環境配慮への取組みが行われていることを確認した。
危機管理	適正に実施	安全管理・衛生管理・危機管理に関するマニュアルが整備され、緊急連絡体制が確立されていることを確認した。
人員配置・地元活用	適正に実施	事業計画書及び従事者に関する届のとおり人員が配置され、勤務体制や労働条件・環境に問題がないことを確認した。また、地元活用について事業計画及び第三者委託承認申請書のとおり実施されていることを確認した。
現金管理	適正に実施	現金受払簿が整備され、売上(診療報酬)、両替金、手許金等が適切に管理されていること、また売上(診療報酬)が毎日入金されていることを確認した。
会計・経理	適正に実施	通帳の出入金記録及び仕訳伝票にて、指定管理料及び文書料が適正に管理されていることを確認した。
情報セキュリティ	適正に実施	医療情報システム運用管理規程が整備され、従事者への周知(研修)が行われていること、ID及びパスワードが適正に管理されていること、PCにウイルス対策ソフトがインストールされていること、外部と通信を行うPCについてはファイアウォールが有効になっていることを確認した。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	プライバシーポリシー、情報開示に関する規程、文書管理に関する規程が作成されていることを確認した。また、文書管理に関する規程に基づいて文書が作成されていることを確認した。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	業務の再委託、備品の調達と廃棄、従事者の変更について報告及び事前承認が行われていることを確認した。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大による影響はあったが、3診療所ともに常勤医師を配置できたことにより、昨年度に対して患者数が148人増加し医師派遣費用についても抑制に繋がった。収支状況については黒字となったが、昨年度と比べて運営費支援金等の補助金がなかった事により収入は約670万円の減少となった。課題としては訪問診療が昨年度に対して9人減少しているため、今後は相模原赤十字病院を基軸に近隣医療機関との機能連携及び地域開業医などとの連携を一層強化しさらなる地域医療への貢献を図りたい。現状は指定管理料により黒字となっているが、質の高い医療を目指しつつ経営改善できるよう努めたい。

10 所管課意見

代診医師の委託費用や投薬用医薬品費用を抑制できたことにより収支を確保し、さらに利用者及び利用者満足度の向上も達成したことは評価に値する。一方で、地域活動への協力や予防医療・健康活動に関する住民サービスについては、藤野健康フェスタへの看護師を派遣のみに留まった。市立診療所の指定管理に関する協定書では利益を市民に還元する条項はないものの、公共施設において想定を上回る利益があった場合には住民へ還元することが前提となるため、年に1回でもよいので予防医療や健康活動に関する講座や教室の企画・開催、診療所内の掲示板等で情報発信するなど、利益還元を念頭において地域医療への貢献について積極的に取り組まれない。

また、現地確認において、災害用備蓄品の消費期限切れやマニュアルの更新漏れなど軽微ではあるが不適格が確認されたため、万全を期した運営・管理に努められたい。

11 選考委員会意見

- ・医師会へ積極的に参加していただき、医師会を通じての地域医療への貢献も検討してほしい。病診連携、診診連携のうえで、お互いの顔の見える関係の構築に努力してほしい。
- ・人口減少地域で地域の身近な医療の拠点として活動していることに敬意を払う。高齢化も進んでおり、往診なども重要性を増していると思う。引き続きご尽力されることを期待する。
- ・令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、収支状況が黒字となっている。収入・支出とも特殊な事情がない本来の運営状況で黒字の経営であるので評価できると考える。利用者の満足度で待ち時間に関する評価が低いとのことであるが、改善の見込みとのことであるので、令和5年度の結果に期待したい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響もある中、成果指標である往診数はやや減少したものの、受診者数は増加、経営状況も健全であり、また、3診療所とも、診療所職員の対応について高い満足度が得られており、高く評価できる。一方、診療待ち時間や会計までの待ち時間について高い満足度が得られなかった診療所においては、引き続き、待ち時間の短縮に向けた努力をお願いしたい。

総合評価（自動判定）

